



★教育講演会「懸命に生きる人々～いま、私たちが学ぶべきこと～：2/7（金）★

先日、本部町文化交流センターにて、写真家の池間哲郎さんをお招きした講演会を開催いたしました。池間さんは、長年にわたり東南アジアにおける貧困などの社会問題について調査・支援活動に取り組み、現在は認定NPO法人アジアチャイルドサポート代表理事を務め、精力的な支援をやり続けています。講演会では、アジアの子どもたちや貧困の中で懸命に生きる人々の映像を通して、「一生懸命生きること」の大切さを改めて教えていただきました。生徒たちは、池間さんの力強い言葉と写真に、真剣な眼差しを注いでいました。



【生徒の感想】※一部修正・抜粋

・学校で子どもたちにプレゼントした帽子が、子どもたちから親にプレゼントされていたという話を聞いて、暑い地域で働く親を思いやって子どもたちがとった行動を尊く思いました。自分も親を大切にしたいと思いました。この講演会で学んだことを無駄にしないように、しっかり考えて、これからの生活に活かしていきたいです。(1-2金城結花)

・今自分達ができている色々なことは、あたりまえのことではなく、とても幸せなことだと感じました。自分が一番心に残っているのは、ネパールの男性達によるDVです。女性が、ものように扱われていることがとてもかわいそうに思いました。でも、池間さんのおかげで、ネパールの女性達が勉強するようになり、裁判などでDVが少なくなっていることを聞いてすごいなと思いました。(1-2崎浜秀虎)

・この講演を聞いて、私達がとても恵まれていること、人を助けることができることがわかりました。またそれ以外でも、やりとげたいときは、あきらめずに挑戦することが大事だと感じました。(1-3岸本桜子)

・池間さんの話と写真がとても頭に残りました。過去も現在も、人権問題や環境に恵まれない人がたくさんいることも改めて考えさせられました。壊されながらも攻撃されながらも、学校を建設しているのがすごいと思いました。今、自分には何ができるのかを考えてみたいです。(1-3武方さつき)

・世の中には食べ物も食べられない貧しい人達がいる、今、自分達がここに生まれてきたことに感謝し、最後まで精一杯生きて、病気や貧しい人達に元気を与えられる人になりたいと思いました。自分達が勉強できていることや給食があるありがたさを感じ日々過ごしていきたいと思いました。(1-3知名由依織)

・この国では、お母さんがいるのは当たり前で、これが普通の生活だと思っているけど、池間さんの話を聞いて、これからどう生きていくか、どう行動していくかについて考えました。食べ物をおだにしないこと、お母さんを大事にすること。今日の話で大切なことを教えてもらいました。(2-1普天間惲人)

・いつも何気なく一緒に暮らしているお母さんは必要不可欠な存在なんだと学びました。池間さんの話を聞いて、世界の子供たちと比べると、私がお母さんを敬う気持ちや行動がまだまだ未熟だということに気づかされ、もっと日常から感謝を伝え、親孝行していこうと思いました。(2-2喜納香美琉)

・沢山の貧しいかわいそうな子供たちも、親のために働くなどすごく家族思いな優しい子できれいな心をもっていると思った。日本では、親がやるのが当たり前で任せっきりだけど、タイなどの国では私たちより年下の小さい子でも家事をこなして自分のことができていたりして、尊敬しました。普段知ることができないことを聞くことができて感謝だし、これから少しでも自分のことは自分でして、自立していきたいと思いました。(2-3大城唯愛)

・一番印象に残ったことは、「生きることで精いっぱいだから夢はない」と言っていた子です。子供が夢を持つことも当たり前ではないということに驚き、胸が痛くなりました。日本では、お母さんやお父さんが家事も仕事も当たり前に行ってくれるけど、そうではない国があることを知って驚きました。お母さんやお父さんも大切にしていこうと改めて思いました。この講演会で今の世界の現状について知ることができ、この世界を変えていくには、嫌なことにもちゃんと目を向けていく必要があることを学ぶことができました。これからも毎日を大切に生きていきたいです。(2-3木村結那)

・世界では、親のために働き、親に深く感謝している人、病気によって差別されている人がいることはとても悲しいことだと思います。普通の風邪でも薬や栄養がなく亡くなる人がいることを知り、今自分が生きていることは当たり前ではなく、周りの人、家族、友達が支えてくれているからだと考えました。銃を向けられても支援を続ける池間さんのように自分にはできないけど、募金などで世界で困っている人々の助けにつながればと思いました。そして、世界の子供が親に感謝するように、自分も親に感謝して生きていきたいです。(3-3棚原龍巳)

・小さな子が仕事を探してお金をかせぎ、お母さんのいる遠い場所まで食べ物を歩いて持って行くという場面がとても印象に残りました。私たちが今、普通に食事が取れて、学校に通い、普通に服を着られるのも当たり前じゃないということ強く感じました。池間さんが貧しい子供たちにとって多くの行動にとっても感動しました。私も池間さんのようになりたいと思いました。小さなことでも人のためになることをすると、自分も相手も幸せになると思いました。(3-2清水夢那)

・他の国には、家族を第一に考えている子供たちがたくさんいることを知りました。色々な国で困難な中、学校や施設をつくり続け、地域の人々との交流を重ねながら行動に移してきた池間さんの話を聞いて、私も勇気を出して行動したり、発言したり、人権のことについても真剣に考えていきたいと思いました。(3-1上間徠愛)